

論文要旨

氏名	林 泰武
<p>長期の臨床経験から、従来の固定性補綴装置は、隣接歯に損傷を与えるだけでなく、修復した歯の歯根も破壊するということが明らかになった。これらの問題を解決するために、テレスコープクラウンの概念が発展したが、その製作は非常に困難である。そこで我々は、根面アタッチメントとクリップによる可撤性二重冠 (A-タイプ)、ボールアタッチメントとラバーキャップによる可撤性二重冠 (B-タイプ)、および T-ポスト合金プレートで支持する可撤性ポンティック (C-タイプ) の3種の衛生的可撤式補綴システム (RHPS) を開発し、台湾、中国、日本、米国、ドイツにおける特許を取得した。今回、これら3種の特徴について論文として紹介するとともに、臨床応用について検討した。</p> <p>本システムの長所は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 本システムは容易に清掃が行えるよう設計されている。2. 根面アタッチメントとクリップ、ボールアタッチメントとラバーキャップおよび T-ポスト合金プレートにより、患者は安定した通常の咀嚼機能が行える。3. クラウンの両端に設置したオクルーザルレストは、脆弱な歯の破折を防止するために、隣接歯への咬合圧分配を可能にする。	

